

# 中国ブロッククラブネットワークアクション2022

- 期 日：11月12日（土） 場 所：セントコア山口  
形 式：集合とオンラインの併用 参加者：集合 49名 オンライン 28名  
テーマ：新たな共創（きょうそう）の可能性  
趣 旨：  
・ 総合型クラブの運営に必要な情報や課題解決に向けた具体的な取り組み事例等についての情報共有  
・ クラブ育成・支援のためのネットワーク強化と各都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会間の連携体制の促進  
・ 令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行が円滑に行われるよう、部活動改革に関する情報提供や実践例の紹介の実施  
・ 新たな地域課題について、総合型クラブ・地域・学校等との新たな共創の在り方や事業展開を考える機会

午前中は、スポーツ庁から「運動部活動改革についての情報共有」や山口県教育委員会学校安全・体育課と美祢市教育委員会学校教育課から「公立中学校等部活動改革についての山口県の取組」の発表が行われました。午後からは、「文化・スポーツを通じたコミュニティづくり」と題して、山陽小野田市の取組についてや「総合型地域スポーツクラブと学校部活動の連携」と題して、鳥取県と岐阜県の総合型クラブの事例発表、「地域づくりと地域学校協働活動」というテーマで、NPO法人ほほえみの郷トイトイの取組について講演が行われました。

この研修会が、今後のクラブの活動へのヒントにつながればと思います。

部活動の地域移行というホットな話題でしたが、国や中体連などの方針が定まらない中、情報を共有することで、地域の実情に応じたアイデアが生まれてくるように思えた一日となりました。



## 令和4年度スポーツリーダー養成講習会

期 日：12月10日（土）・11日（日） 場 所：カリエンテ山口 参加者：25名

平成30年度から実施してきたスポーツリーダー養成講習会ですが、今年度が最後の実施となりました。これは、日本スポーツ協会が令和2年からスポーツ指導者基礎資格の新資格として「コーチングアシスタント」の養成を開始したことに伴い、スポーツリーダーの新規養成を終了することとなったためです。



内容は、これまでと同様ですが、最新のデータを紹介したり、今のスポーツ界の話題を提供したり、それぞれの講師が専門性を活かして、持ち味を発揮されていました。特に、今の関心事である「中学校地域部活動」の情報は、ジュニア期スポーツにかかわっておられる受講者にとって、深い学びとなりました。

わくわく（輪く和く）通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.48

2022年

12月

スポーツくじ  
WINNER 1000 BIG

## 総合型スポーツフェスタ2022萩・長門・阿武が開催されました！



10月30日（日）ルネッサながとを会場に、長門スポーツクラブが主管となり、標記イベントが実施されました。バレーボールと卓球が行われ、バレーボールには元全日本バレーボール選手の前田悟氏と横田一義氏が来られ、技術に関することなど様々なアドバイスをいただきました。参加者は、真剣な眼差しでアドバイスを聞き、実践で試そうとする姿を見ることができました。

卓球には、50代以上の方が参加しており、試合形式で楽しく交流されていました。年齢を感じさせないダイナミックな打ち合いも見られ、卓球は、

生涯スポーツとして楽しむことができるスポーツだと改めて感じました。

今回、開催日や対象の変更等があり、その結果、県体協と事務局とのやり取りが上手くできていなかったことが多くあったため、もっと密に連絡を取りながら準備を進めていく必要があると感じました。



## 令和4年度 地域スポーツ指導者研修会「YAMAGUCHI フラッシュアップ研修会」の報告



11月19日（土）、小郡ふれあいセンターを会場に、22人の参加者で、子どもの体力の状況とACPの理論や実技を学びました。

初めに、日本スポーツ協会の青野先生から、「子どもの体力」についての現状を踏まえ、運動適性テストⅡにした改訂の意図について講義がありました。特に、コンディショニング・チェックにより、からだの状態を把握できるようにしたことや「運動能力の量と質の関係による評価」「2つの測定項目の関係による評価」など、体力についての新しいとらえ方を学びました。

次に、東京学芸大学の佐藤先生によるACPの実技指導がありました。今回は、午後からの模擬指導に関連付けたACPとして、「体ジャンケン」「宅配便ゲーム」「長縄跳び」「爆弾ゲーム」「ネコとネズミ」の5つの遊びを紹介され、受講者が楽しく体を動かすことができました。

午後からは、4つのグループに分かれ、午前中に紹介された5つの遊びを「コミュニケーション」「運動有能感」「投動作の洗練化」「動きの多様化と洗練化」の観点を取り入れてアレンジする時間になりました。

参加者からたくさん感想がありましたので、紹介します。

- ・子どもの中には元々集中してできない子ども、理解力が年齢と相対していない子どもなどいろいろな子どもがいる中、今回指導案作成方法を学んでその子どもたちにも皆で楽しくできる「あそび」を学ぶことができました。”指導法”をもっと学んでいこうと思います。
- ・初めて参加させていただいたが、実践につながる内容ばかりで大変勉強になった。またぜひ参加させていただきたい。ありがとうございました。
- ・他の方もお近づきになれ普段1人でしているようなACPもつながりを感じて心強く思いました。

ACPに関わったみなさんが実践を持ち寄り、楽しく安全な遊びを作り上げていかれるのだろうと想像できました。主催といたしまして、このような研修の場を作り上げていく努力をさらに積み重ねていきたいと思っております。





## 人がつながる 人でつながる 人がつくる

地域に根ざしたクラブの経営や活動を支えるのは人…このコーナーでは、コンシェルジュがインタビューをして、総合型地域スポーツクラブにかかわる人を紹介していきます。

### 至誠館クラブ 副会長 金崎 務 氏

今回は、萩市の至誠館大学を拠点に活動している至誠館クラブの副会長である金崎務さんにお話をうかがいました。

#### 金崎さんとスポーツの関わりを教えてください。

私自身は、中学校はサッカー、高校は卓球をしていました。現在は、椿東ミニバスケットボールスポーツ少年団に関わっています。ミニバスケットは未経験でしたが、長男が小学4年時に入団したことで保護者として関わりを持ったことが始まりでした。長男が6年時には育成母集団の会長となり、その後、2代目の団長となってから現在も団長をさせていただいています。また、萩市スポーツ少年団指導者協議会の副会長もしており、長男がこのスポーツ少年団に引き合わせてくれたのだと感謝しています。

#### 至誠館クラブに期待していることは？

年中・年長を対象にしている「幼児運動教室 つばえるキッズ」には、私の孫も参加しています。人気の教室で、孫もいつも楽しみにしております。この教室を通して運動が好きな子どもがさらに増え、小学生になって地域のクラブに参加する子どもが出てくればいいなと感じています。また、クラブでは現在4つのプログラムを行っていますが、もっと充実したプログラムを展開できると市民の方にクラブをさらに知っていただけるのではないかと思います。若い人が参加できるようなプログラムの提案を私自身も考えていきたいと思っています。

#### 金崎さんから子どもたちへ

親がしたからという理由で、同じ種目をしている子どもも少なくないと思います。今やっているスポーツが合っているかどうかはまだわからない段階だと思うので、中学・高校・社会人と成長する中で、自分のやりたい種目を見つけ、大人になっても何でもいいからスポーツを続けてほしい、スポーツを好きでいてほしいと願っています。

スポーツ少年団の指導者でもある金崎さんならではの話を伺えました。総合型クラブもスポーツ少年団も地域スポーツクラブとして変化しようとしている将来を見据えていらっしゃるのだと感じました。



### 総合型地域スポーツクラブ「すげえちゃ・高泊」 事務局 森下 正興 氏

今回は、山陽小野田市で創設して11年目を迎える「すげえちゃ・高泊」の事務局、森下正興さんにお話を伺いました。すげえちゃ・高泊では、成人向けにはバドミントンやパドルテニス、子ども向けに水泳・キッズダンス、高齢者には太極拳や麻雀など、バラエティにとんだ活動が展開されています。また、山陽小野田市立東京理科大学とのコラボによる「薬草による健康づくり講座」は4年目を迎え、ますます人気のある講座になっています。



#### このクラブとどのように関わってこられましたか？

今から45年前、この高泊に居を構えました。当時は、PTAや社内のスポーツ活動に夢中になり、ソフトボールや野球などを楽しんでいました。退職したころ、地域でスポーツクラブを立ち上げたいとの声が上がリ、準備段階から関わり、今に至っています。

#### 今、充実していることは？

子どもたちもそうなのですが、高齢者もたくさん集まってくれることです。10年前に3、4人で始めたキッズダンスは、今では40人を超える人気教室となっています。このような教室などのお世話をする中で、毎日充実した生活を送ることができています。お世話が苦にならないのは、会社時代にマネジャーをやっていた経験もさることながら、井上会長のアグレッシブさに思わずつられて動いている自分がいるからなのでしょうね。

#### これからやりたいことは？

やはり後継者を育てていくことです。中学校部活動が地域移行されてくる中、地域の指導者を増やしたいので、有償ボランティアも視野に入れているところです。そのためにも、スポーツ界が動こうとしている今、W杯で盛り上がっているスポーツ熱や仲間との絆をもって地域活動に積極的に参加してくる若者と関わっていききたいのです。

最後に、ご自身に一言と尋ねると、「長所である好奇心旺盛な点を活かして、気力をもっと充実させていきたい」と楽しそうに語ってくださいました。「すげえちゃ」の名付け親である森下さん、これからのご活躍を祈念しています。

# 総合型地域スポーツクラブ 訪問日記

| クラブ名          | 教室名                      | 訪問日      | 訪問者  |
|---------------|--------------------------|----------|------|
| SHOKOエンジョイ倶楽部 | スポーツ教室<br>「子どもたちのモルック体験」 | 11月5日(土) | 和田康夫 |



創設2年目を迎える岩国市のSHOKOエンジョイ倶楽部が、「スポーツ教室」を開催することとなり、秋晴れの中、黄金色に染まった銀杏の木の下で、モルック体験取材しました。

このイベントは、地元の団体である新港商工連盟の依頼を受け開催されたもので、装港小学校の子どもたちと保護者などが集まり、3~4人のグループで、初めてのモルックを楽しみました。SHOKOエンジョイ倶楽部と新港商工連盟のスタッフのみなさんの声援の後押しもあって、子どもたちがモルックのおもしろさを体感することにつながっていました。

SHOKOエンジョイ倶楽部の本田会長さんは、「子どもたちがモルックのルールをあっという間に覚えて、自分たちでプレーを楽しめるようになったことがうれしいことです」、河崎商工連盟会長さんは、「こうして子どもたちの遊びが地域で広がっていくといいですね」と、お二人とも目を細めて語っていらっしゃいました。

スタッフから、「本郷で行われたスポーツフェスタでモルックを体験しました。そのおもしろさを子どもたちにも気づいてほしくて参加しました。子どもたちは、体を動かし、計算することで頭を使い、50点が近づくと、相談を始めるなど、素敵なコミュニケーションスキルが育っているように思えました」と話してくださいました。

スポーツフェスタなどを通して、総合型クラブにかかわるみなさんのいろいろな体験がこのように活かされているのだと、改めて思えました。



## 研修会のご案内

年度末のあわただしい時期ですが、2つの研修会を用意しました。大きく変化しようとしている文化・スポーツ環境について学んでみませんか。

### 第2回創設・育成研修会

日時 令和5年2月3日(金)  
13時15分~16時15分(13時~受付)  
場所 山口南総合センター 多目的ホール(山口市)

#### ◆事例発表

「部活動改革におけるクラブの課題解決にむけて」  
発表者: NPO 法人 Goppo ええぞなクラブ  
「地域・小中学校・大学が一体となった文化・スポーツ活動」  
発表者: 山陽小野田市

#### ◆実習 「スローエアロビック」

講師 日本エアロビック連盟  
理事長 知念かおる氏



※10時から同じ場所で「市町担当者連絡協議会」が行われます。

### 女性とスポーツの会研修会

#### 「第9回 Woman 和ークル」

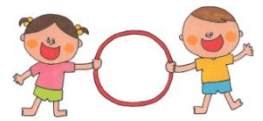
日時 令和5年2月5日(日) 9時~12時  
場所 カリエンテ山口

#### ◆報告

○順天堂大学 女性リーダー  
・コーチアカデミー研修会に参加して  
女性とスポーツの会 理事 関井友美

#### ◆実技「遊びで脳を動かそう」

講師 梅光学院大学特任教授 難波克己



※暖房が効いたホールで体を動かしながら、楽しく学ぶ時間を共有しませんか?

### 【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

央部生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)  
TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699



クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ(toto) 助成を受けて活動しています。

スポーツ指導者等派遣事業を活用しているクラブは、年度内に実施される研修会へ必ず1回は参加することとなっていますので、参加をお願いいたします。